

事務事業名		観光パンフレット作成事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	2 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係	担当課長名	小野 勉	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 総合的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10675	一般	7	1	3	観光パンフレット作成事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		一部委託			
						事業分類		その他直接サービス提供事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
観光パンフレットの作成及び配布		観光パンフレットの作成 (事業費の内訳)佐野ガイドマップ作成56,000部 612,060円 観光ルートガイド作成20,000部 743,000円						
		活動指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
		観光パンフレット作成部数	部	100,000	76,000	100,000	100,000	100,000
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
全国の人、市に問い合わせをした人		対象指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
		国内の総人口(1/1確定値)	千人	127,235	127,016	126,597	126,198	125,739
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
目的		佐野市の観光スポットを知ってもらおう。						
		成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
		パンフレット配布部数	部	100,000	76,000	100,000	100,000	100,000
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
国内に居住する人に本市の魅力を知ってもらおう。		上位成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
		ロケ誘致件数	件	37	42	45	50	55
		コンベンション事業数	事業	8	8	6	7	8

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,238	1,355	1,557	1,557	1,557			
		事業費計(A)	千円	1,238	1,355	1,557	1,557	1,557			
		事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				印刷製本費	1,238	印刷製本費	1,355	印刷製本費	1,557	印刷製本費	1,557
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2			
		のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100			
		人件費計(B)	千円	389	394	394	394	394			
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,627	1,749	1,951	1,951	1,951			

事務事業名	観光パンフレット作成事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	--------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	観光誘客の手段として開始した。 開始年度不詳。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	観光客のニーズの多様化。 佐野市の規模が大きくなり、広範囲に観光資源が点在している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	より多くの分野のパンフレットを作成してほしい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	パンフレット内容の見直しを行い、最新の情報にした。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市の観光PRをしていくにあたって必要である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	総合的なパンフレットを作成しているの、市で作成することが妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	全国の人に、佐野市を知ってもらい、来訪してもらうことが目的であるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	より観光客のニーズにあったパンフレットにしていくことにより、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	パンフレットが不足しているの、削減出来ない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	佐野市への誘客を促すものなので、負担を求めるとは目的が達成出来なくなる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	観光PRをパンフレットでする必要が無くなった時。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 観光客のニーズを把握し、ニーズにあったパンフレットを作成する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下	×	×	ニーズの多様化により、作成するパンフレットの種類・情報量の増加と経費増大が考えられる。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	